

遠隔授業（授業回数全体の半分以上）の場合は、科目名の先頭に が付加されています（2023年度以降）

開講科目名 / Course	消費者市民と社会 / Consumer Citizen and Society		
時間割コード / Course Code	R1001019_G1		
開講所属 / Course Offered by	共通 /		
ターム・学期 / Term・Semester	2023年度 / Academic Year 第3クォーター / 3Q		
曜限 / Day, Period	他 / Otr		
開講区分 / Semester offered	後期 / the latter term		
単位数 / Credits	2.0		
学年 / Year	1,2,3,4		
主担当教員 / Main Instructor	岡崎 裕		
授業形態 / Lecture Form	講義・演習		
教室 / Classroom	未定 / 未定		
開講形態 / Course Format			
ディプロマポリシー情報 / Diploma Policy	要件所属 / Course Name	ディプロマポリシー / Diploma Policy	DP値 / DP Point
	共通	課題解決力と自己学修能力	5
		地域への関心と国際的視点	5
担当教員名 / Instructor (担当教員所属名 / Affiliation)	岡崎 裕 (教育学部 (教員))		
授業の概要・ねらい / Course Aims	<p>SDGsの課題にも数えられる消費社会のあり方について、消費者市民社会の一員として地域社会における課題を通して考える。</p> <p>講義においては、消費者教育推進法とその成立の背景について、具体的事例もふまえて学ぶ。演習においては、企業や行政、市民団体の活動にもふれることができるように、また、その後の関わり機会も想定した現場実習を通して学ぶこととする。</p> <p>授業は以下の内容にて実施する。日程については、概ね11月から12月にかけての土曜日を中心に設定するため出来るだけ空けておくように。また、授業方法や実施場所については、履修登録者に対して直接連絡いたします。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>オリエンテーション「消費者市民と社会」</li> <li>消費者教育の基礎理論 消費者教育と消費者市民（推進法を通して） SDGs（持続可能な開発目標）と消費者教育について 一人の市民として「消費者問題」を理解する</li> <li>活動を通じた教育の手法（アクティブラーニング）について ワークショップとアクティブラーニングについて 消費者教育推進法がめざす「消費者市民社会」の実現に向けた消費者教育の方法を知る</li> <li>消費者教育と企業活動 消費者教育に取り組んでいる企業について理解を深める ACAPなど消費者教育に取り組む各種公共団体について学ぶ</li> <li>消費者教育学生リーダー活動 消費者教育に興味をもつ学生のネットワークを学ぶ</li> <li>地域活動を通じた消費者教育 大阪府消費生活センターの取り組み 和歌山県消費者センターの取り組み 消費者被害に合わないために~消費者被害等の事例紹介</li> </ol> <p>(以下大規模なフィールドワークを含む実践的アクティブラーニングにて行う予定)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>消費者教育実践を学ぶ 1</li> <li>消費者教育実践を学ぶ 2 消費者市民教育の実践に向けた教材づくり</li> <li>消費者教育の企画づくり 1</li> <li>消費者教育の企画づくり 2 消費者市民教育の実践に向けた企画づくり</li> <li>地域共同型消費者教育の実践 1</li> <li>地域共同型消費者教育の実践 2</li> <li>地域共同型消費者教育の実践 3</li> <li>地域共同型消費者教育の実践 4</li> <li>まとめと振り返り</li> </ol>		

遠隔授業（授業回数全体の半分以上）の場合は、科目名の先頭に が付加されています（2023年度以降）

到達目標 / Course Objectives	1. 消費者市民社会のあり方について自分の問題として理解する 2. 実践を通じて消費者教育の必要性・内容を理解する 3. 消費者市民社会における市民としてのあり方（消費者市民性）を身につける 4. 所属する大学を越え、次代を担う消費者市民としての連帯性をはぐくむ
成績評価の方法・基準 / Grading Policies/Criteria	授業ごとに示す目標の達成評価を基本とし、授業の関わり方・課題への取り組み方等を含めた総合評価を行う。
教科書 / Textbook	特に指定はしないが、授業の過程において適宜参考文献を示す
参考書・参考文献 / Reference Book	授業中に示す
履修上の注意・メッセージ / Notice for Students	「南大阪地域大学コンソーシアム」、「大学コンソーシアム大阪」および「高等教育機関コンソーシアム和歌山」における単位互換科目として実施するため、他大学在籍の受講生とともに、学外施設も積極的に活用しながら実施する。
履修する上で必要な事項 / Prerequisite	所属する大学を越えて、授業（学習活動）への自分自身の積極的・協働的かわりが求められる。
履修を推奨する関連科目 / Related Courses	なし
授業時間外学修についての指示 / Instructions for studying outside class hours	本授業の授業計画に沿って、準備学習と復習が必要となる。さらに、授業内容に関連する課題に関する調査・考察を含めて、履修者相互の連携と自主的学習を求める。
その他連絡事項 / Other messages	この科目は、SDGsや消費者問題をめぐる諸問題に関わる知識はもとより、地域ニーズに即した消費者教育イベントの企画・運営など、実際の社会的活動を通じて、消費者市民社会のあり方について学修することを目的とする授業科目です。したがって履修する学生にはそれぞれ、自らの積極的な社会参加に対する意識が求められ、「受け取る」だけではない「発信する」学習が求められます。
授業理解を深める方法 / How to deepen your understanding of classes	SDGsならびに消費者問題について、普段から関心を持ってください。
オフィスアワー / Office Hours	適宜アポをとってください。
科目ナンバリング / Course Numbering	C08032J1011131h1

授業計画詳細 / Course schedule

回（日時） / Time (date and time)	主題と位置付け（担当） / Subjects and instructor's position	学習方法と内容 / Methods and contents	備考 / Notes
		<p>後期集中科目として、基本的に12月10日、11日、17日、18日の4日間を開講日として予定している。授業のうち第7回～15回の演習部分については、その実施の形態が毎年異なるため、確定情報については10月を目途に履修登録者に対して通知する。（事前の説明会も併せて開催する）</p>	